

Peter Tosh is clean man.

約20年程前に劇場公開されたジ・マイカ・レゲエ
シンガー Peter Tosh の自伝的映画 "Red X" by UPLINK
という映画をご存知だろうか? 是非観てほしい。映画のつ
いで。僕のパイラルだ。Peter Tosh は、the Wailers のメンバー
で、Bob Marley の先輩に当たる。レゲエに奉じたミュージシャンは、
めっちゃ過激で、Stepping Razor と呼ばれ、恐れられていた。
しかし、そのパフォーマンスとはうらやまに、友人には優しく。
家族思いの立派な人だららしい。そんな友人についてこの
インタビューの中で、おじさんがコメントしていた一言だ。
"Peter Tosh is clean man" このおじさんの言葉が今では
僕の生きる指針になっている。Clean man を目指して
生きる事を目標にしようと思い心に誓った。

自分の利益を得る為に人をだましたり、裏切ったり、
けあしたりするのは当たり前。自分の生活も、家族を守る
ために背に腹は変えられないと思込まされている。
現代社会において、クリーンな男の理想の形とは?
まずは自分に他人にもウソはつきたくない。人をアゴで
使わない。偉そうにしない。お金にまどわされない。
こびへつらわない。正直で居る。なにがだててはならない。
で、全然、自分では果たせたくない事もたくさんある。
もっともっとお金と離れたくないし、もっともっと自我も捨てたい。
人の為につくしたい。いろいろの事もやめたいし、ハッキリも。
イジメたりする事もやめたい。まだまだ Clean man には
程遠い。けど、一生かけて挑戦したい。今のこの自分の中
で、バランスを取る方法としては、なるべく、時間を作って

土に触れて、作物を育てるという事だ。
土を耕す時の臭いと、年々、土の変わりゆく様と、その土から
出来た作物のキラキラ感と。他では味わえない。至福が
そこにはある。何よりも豊かでクリエイティブな行動だと思ふ。
Clean manに近づくには、現代社会から離れるべく
自分で作物を作るというこしたと最近感じる。
音楽を通じ、脱経済至上主義、脱人内至上主義を
唄っているつもりだが、現代のこの腐った社会をぶっつぶす
には、反対運動や対立ではなく、みんなが生産者にならば
支配され、操られる事もなく自立できゆくと思ふ。
生産し、これを頂く。ゆえに出来れば人に分ける。手廻りに
人と交換する。極めて人間的で生命のつながりを
実感できると思ふ。

今、名古屋でCOP10生物多様性会議が行われているが、
国家や企業の利益が優先でいっただけの大会さに向う会議
ではないらしい。実際、COP10開催中の今、山口県の上ノ内
祝島で、あちだけ多くの住民や外部の人が反対を言っている。
原発建設予定地に、まさに今手が入るとしている。
いっただけのつながりを感ずる事ができず、お金、お金、目先の
利益を追求している。

そんな社会や政治のやり方に強く抗議しやきたい。
断固反対したい。もちろん基本は非暴力。
どうにかして、次世代の為に、今の腐り切った世の中を
ぶっ壊しぶっつぶしたい。同じ意志を持つ仲間を
いっただけ。みんな現状を打破したいと思っている。

ども、このシステムの中に属している以上は、支配されている。
自立への道は程遠い。常に不安をあおられ、操られる。
であればやはり、この社会システムに所属、消費してゆくより
自分たちで生きゆく。社会を作る Clean に生きる。
コントロールされぬ。これこそが日本版 ラスタセリット
サウライ云々だと思う。

たった60年で腰抜けになっしまった日本人に残された
道は、この豊かな土地を活かした農。しかもシステムに
属さぬ。買ったり買われたりに属さぬ。農。いわゆる
昔ながらの生活だ。これこそが脱バビロン、脱システムだ
改めし思っている。僕の中にはすでに、音楽を売り買ひする
人に周らせる音楽は一つもない。意気を高める、仲間
意識を宿す ルーツミュージックをメッセージに生きゆく。
そして、農にかかり、生命の大切さを感じながら生きる。
これが人生の目標。Clean man と呼ばれるこの日まで。
他にも自分にもうりのな。健全な生活を目標して。
そして、果ては、誰もが気軽に来れる 誰もが土いじりできる
この地球を誰のものでもない意識できる場所作り。
誰の指図も受けぬ。自分たちでモラルを考へるチカラ作りを
してゆきたいと明確になっしまった。じの腐った政治家や
ケ-サツ、使われまゝに癒れ切ったサラリーマンや学校の先生。
痛んで病んでしまった人たちが自分せとり戻す場所を
作りたい。誰もが Clean man を目指せる共に。

※ 親友の一人 カケロマの こんちゃんか海に落ちてしまいました。
次の世界でも幸せに、みんなを見守り、待つて下され。